



CHARM

BUSINESS REPORT 2024

第40期 株主通信

2023年7月1日~2024年6月30日



株主の皆さまへ

To Our Shareholders

M&A、業務提携など あらゆる可能性を模索し成長を目指します



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに「第40期 株主通信」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は、2024年6月期において6ホームを開設しました。また連結子会社である株式会社ライクにおいては介護付有料老人ホーム1ホームを事業譲受し、当社グループの運営ホーム数は91ホーム、居室数は6,159室となりました。2025年6月期におきましては、13ホームの開設および取得を予定しており、当社グループの運営ホーム数は104ホーム、居室数は7,113室となります。

不動産事業では、仲池上案件、宝塚小浜案件の売却を予定通り第4四半期に完了しました。今後とも、豊富に仕入れる不動産情報を活かし、介護事業に次ぐ第2の事業の柱として推進してまいります。

新規事業においては、新たにAI技術を用いた介護事業者向けサービス「虐待防止システム」の早期事業化を目指しております。新規事業の創設および積極的なM&Aによる複合事業化を実現させることで、中期目標「連結売上高1,000億円以上、連結経常利益100億円以上」の達成を目指してまいります。

介護現場におけるDX化も着実に進行しており、業務の効率化・省力化により創出された時間を本来の業務に充てることでサービスの質の向上につなげるとともに、スタッフの

負担軽減を図り、本格的な人材の需給ギャップへの対策としてまいります。

サステナビリティに関する取り組みでは、「アートギャラリーホーム」「ヤングケアラー支援」に加え、子どもの貧困に取り組むNPO法人との協働が2025年6月期より本格始動いたします。

今後も社会に広く貢献できる企業となるよう努めてまいりますので、株主さまをはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまにおかれましては、末永くご支援賜りますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

2024年9月

代表取締役会長兼社長 下村 隆彦

4つのNo.1を実現し、業界のリーディングカンパニーとして、拡大する介護需要に応え、さらなる成長を追求してまいります。

成長戦略「既存事業の発展と事業領域拡大」のもと、4つの点で業界No.1を目指すことで他社との差別化を進め、中期目標として「連結売上高1,000億円以上、経常利益100億円以上」を目指すチャーム・ケアグループ。その事業活動の概況と今後の取り組みについて、代表取締役会長兼社長の下村隆彦に聞きました。

当期のポイント

介護事業では、当社および連結子会社であるライク社とも既存ホームが引き続き高入居率を維持し、好調に推移しました。利益面では、コロナ関連経費の大幅な減少に加え、業務効率化等の効果により利益率が改善しました。不動産事業では2件の開発案件を計画通りに売却、その他の事業の人材派遣事業も順調に進捗したことにより、2024年6月期(以下、「当期」)は売上高、営業利益ともに目標値を上回り、**9期連続の増収増益となりました。**

Q 当期の事業環境、ならびに事業活動と業績のレビューをお願いいたします。

A 介護事業では6ホームの新規開設と、ライク社による1ホームの事業譲受により、運営ホーム数は91ホームとなり、当社、ライク社ともに既存のホームが高入居率で推移しました。不動産事業は、仲池上と宝塚小浜の2案件を予定通り売却し、順調に推移しました。

▶ 介護事業

光熱費や物価の高騰による影響は継続しているものの、新型コロナウイルス感染症がインフルエンザ等の感染症と同じ扱いとなり、コロナ関連経費が大幅に減少しました。また、少数精緻プロジェクトを進めたことで、生産性向上による利益率改善と、サービスの質向上に寄与いたしました。

当期は7ホーム(首都圏3ホーム、近畿圏4ホーム)、486室

の新規開設(ライク社による1ホームの事業譲受を含む)により、累計で91ホーム(首都圏42ホーム、近畿圏49ホーム)、6,159室(首都圏2,523室、近畿圏3,636室)となりました。月に2回業績会議を実施し、入居促進を含め課題を抱えているホームについては、早期改善を促していることも奏功し、当社の新設ホームとライク社ホームの入居が特に好調に推移し、既存ホームにおいては高い入居率を維持しております。

2024年3月にライク社が株式会社グッドタイムと事業譲渡契約を締結し、同社が運営する大阪府羽曳野市の介護付有料老人ホームの運営事業を譲り受けました。業界の常識にとらわれない当社のノウハウを投入することで、早期の入居率改善と運営の効率化を図ってまいります。

進行する建設資材の高騰や人材不足により、今後ますます新規のホーム開設のペースが鈍化すると予想されます。すでにラ

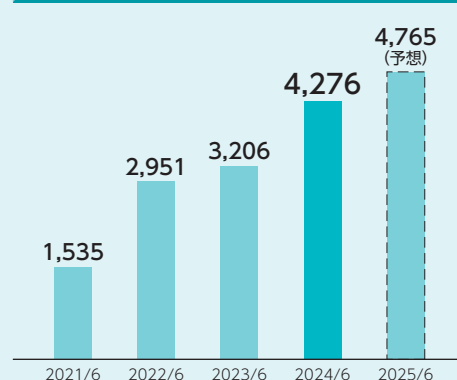
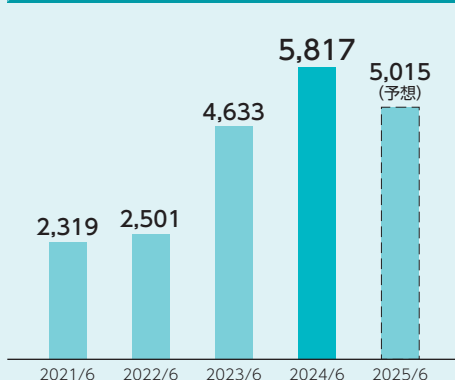
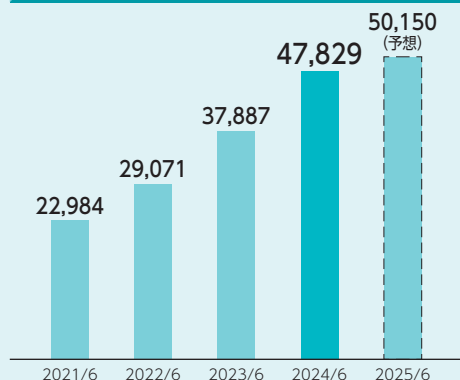
連結財務ハイライト

- 介護事業は、ご逝去等による退去者数が増加したものの、既存ホームは高入居率を維持し、新設ホームや子会社ライクのホームの入居が特に好調に推移し、売上高の計画を達成
- 介護事業におけるコロナ関連経費の減少^(※)や業務効率化等による労働生産性の向上にともない、営業利益率が上昇し、利益の計画も上回る^(※)前期まではコロナ関連経費に対する補助金(営業外収益)を受給し経常利益段階でカバー

売上高 / **47,829**百万円 (単位:百万円)

経常利益 / **5,817**百万円 (単位:百万円)

親会社株主に帰属する当期純利益 / **4,276**百万円 (単位:百万円)



※ 2022年6月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を適用しており、会計上の売上高及び利益の数字がこれまでより先送りされる形となります。但し、あくまで会計上の計上時期が変わるだけであり5年トータルの数字に変わりはありません。

イク社という先例がありますが、当社がM&Aで取得したホームの課題を解決し利益を確保することで、従来の、あるいはそれ以上のペースでのホーム数増加を実現したいと考えております。

2023年8月には、ホームの入居営業に特化したチャームシニアリビングという子会社を設立しました。介護事業において、売上成長に直結する入居の推進は不可欠な要素であるとともに、紹介料という内部コストの削減につながります。また、お客様



チャームプレミア京都烏丸六角 エントランスホール



チャーム府中番場 エントランスホール

の状況に応じて、他社ホームをご紹介することで、外販売上高を獲得することも可能です。

また、2024年6月に東急不動産株式会社の子会社である株式会社東急イーライフデザインの株式を一部取得し、業務提携を行うことを決定しました。両社グループの持つ知見・ノウハウを掛け合わせることで創造される新たな住宅・サービスを通じて、ご高齢者の誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来と介護業界のさらなる発展を目指してまいります。

▶ 不動産事業

東京都大田区の土地建物（仲池上案件）ならびに、兵庫県宝塚市の土地建物（宝塚小浜案件）については計画どおり2024年6月に売却を完了しました。また、同年6月に「チャームプレミア京都烏丸六角」の建物（借地権付建物）を売却しましたが、同時に売却先を賃貸人、当社を賃借人とする当該固定資産についての賃貸借契約を締結しており、引き続き当社が運営を行ってまいります。

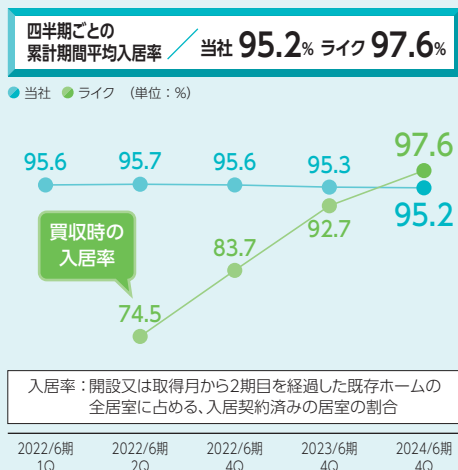
▶ その他の事業（グッドパートナーズ社）

人材派遣や訪問看護の事業が好調に推移しました。当社の介護事業を補完し、シナジーを発揮するビジネスとして、引き続き推進してまいります。

▶ 新規事業

AI技術を用いた介護事業者向けのBtoBサービスとして、介護現場における虐待防止システムの開発に取り組んでおり、当社のホームで試作品を用いた実証実験を進めております。早期の事業化に向けて、引き続き注力してまいります。

- 不動産事業、その他事業（人材派遣事業等）も利益の計画を上回る
- 保有不動産売却による特別利益が計画を大きく上回る一方、投資有価証券評価損による特別損失も計上



連結貸借対照表の要旨 (単位：百万円)

資産の部		負債・純資産の部	
資産合計	43,304	負債・純資産合計	43,304
流動資産	21,448	負債合計	28,168
固定資産	21,856	純資産合計	15,135
前期末 (2023年6月30日現在)		前期末 (2023年6月30日現在)	
資産合計	47,339	負債・純資産合計	47,339
流動資産	24,415	負債合計	28,632
固定資産	22,924	純資産合計	18,706
当期末 (2024年6月30日現在)		当期末 (2024年6月30日現在)	

Q 中期経営計画実現に向けた、4つのNo.1を目指す取り組みについてお聞かせください。

A 売上高・運営居室数といった「量」の規模拡大を目指すのではなく、サービスや社員の「質」といった4つの点（①競争力、②社員力、③財務力、④社員処遇）で業界No.1を目指し、他社との差別化を進めることで、中期経営計画の実現を目指してまいります。

業界No.1を目指す4つの点について、①競争力は、「チャーム・ケアの施設に入って良かった」と思っていただけのように、介護サービスの品質において、業界No.1を目指します。②社員力は、教育や研修を充実させることで、介護サービス・コミュニケーション・接客等の能力を高め、社員のスキルにおいて、業界No.1を目指します。③財務力は、今後の市場環境の変化、介護保険法の改正を踏まえ、高付加価値のサービスを提供する収益性の高い介護施設の開設・運営に注力し、収益力（売上高経常利益率）において、業界No.1を目指します。④社員処遇は、「介護業界で働くなら、チャーム・ケアで」と求職者に選ばれるよう、高い収益力を源泉とした処遇改善を継続して実施し、給与水準において、業界No.1を目指します。

その実現に向けて2023年から取り組んでいるのが少数精鋭プロジェクトです。見守り支援機器、インカムなどのIT機器や、ChatGPT、配膳ロボット、排泄ケアの質向上につながるポータブルエコーなどAIを活用したDX化による業務の効率化・省力化に加え、各ホームに業務遂行能力の高い人材「アソシエイト・リーダー」を配置し、アソシエイト・リーダーを中心とする人員配置の最適化を進め、より少ない人員でより高いサービス品質を実現できるよう生産性の向上を図ることで収益性を強化し、その成果を社員に給与として分配するという取り組みです。

DXに関しては、介護DX推進課を中心にDX環境に対応できる

よう社員のリスクリングに努め、各ホームにDX担当者を配置することで社内全体への浸透を図り、DX化によるご入居者様へのサービスの向上、現場の負荷軽減ならびに従業員の処遇改善につなげてまいります。

特に重視しているのが、これらの改善・価値向上に係る取り組みが具体的にどのような経済的成果に結びついているかを定量的に評価することです。この価値観が企業文化になりつつあると感じております。事業として成り立つ新たな取り組みを通じ、グループ会社を含めた全体で介護サービスのさらなるレベルアップを図ってまいります。

Q サステナビリティの取り組みに関し、取り組みの評価・今後の方向性についてお聞かせください。

A 当社はサステナビリティを巡る諸課題への適切な対応が重要な経営課題であると認識し、ステークホルダーの皆さまとの協働を通じて、持続可能な社会の構築への貢献とともに中長期的な企業価値の向上を目指しております。

当社はサステナビリティ基本方針に則り、5つの項目に対し事業を通じて取り組む重要課題として目標を設定しております。当期の新たな取り組みといたしまして、正社員全員の半数以上の賛成が得られたこともあり、週休3日制度の導入を進めております。全社員に強制するのではなく、希望者のみに導入する前提で、一部のホームで試験的に導入しております。社員からも好評を得ており、2024年9月から全ホームへの展開を進めてまいります。

継続しておりますヤングケアラー支援につきましては、特定非営利活動法人ふうせんの会とともに「子ども・若者たち（ヤングケアラー）のつどい」を協働で定期的に開催しており、神戸市と

Topics

1 「アソシエイト・リーダー」を設置し人員配置の最適化、生産性の向上

業務遂行能力の高い人材を対象とする「アソシエイト・リーダー」を設置し、アソシエイト・リーダーを軸に、サービスの質を維持することを前提とした業務内容と配置の見直しを行い、最適化を促進、また、少数精鋭プロジェクトにより職員の処遇も改善が進む。



2024年6月期期中より効果が表れ、2025年6月期以降は通期で効果が寄与、さらに生産性向上を追求

(参考) 職員1人当たり成果 (付加価値労働生産性)

前期 : 568千円/月平均

当期 : 611千円/月平均 (+約43千円)

※当社単体の介護事業における売上総利益ベースで試算 (労務費を除く売上総利益/人員数)

事例

チャーム西宮用海町

入浴に関する介護スタッフの業務改善により、残業時間を1/10に削減かつ38分/日の時間創出を実現し、創出した時間でご入居者様のケア時間増加

は2024年3月に連携協定を締結し、本格的なヤングケアラー支援の取り組みを開始することになりました。また、尼崎市や神戸市の当社ホームにて小中学生が職業体験をしながら、ご入居者様とふれあう「子どもカフェ」を定期的開催しています。

加えて、2022年10月より、子どもをめぐる社会問題の解決に取り組む認定NPO法人キッズドア様と包括協定を締結しております。この協定は、日本が直面している少子高齢化社会の活性化を目指す新たな取り組みで、貧困などのさまざまな問題を抱えたご家庭をサポートする就労支援を行っております。

卒業後約10年以内の若手アーティストを支援する目的のAGH（アートギャラリーホーム）の活動は、2024年7月「チャームスイート旗の台」で第23回全国公募コンクールを実施し、支援対象アーティストは累計約350人、買上作品は累計約1,200点となりました。さらに、当初のホームにおける活動にとどまらず、さまざまな連携が拡がり、現在では協賛企業が32社に拡がりました。例えば、2024年3月、「チャームプレミア京都烏丸六角」において「京都烏丸六角アートプロジェクト表彰式」を開催するとともに、京都市立芸術大学と連携し、同大学出身の若いアーティストを対象にしたアート作品公募もその一例です。



産学協同の協定書締結に際し当社代表の下村隆彦(左)と京都市立芸術大学赤松玉安理事長(中央)とで、門川大作前京都市長(右)を表敬訪問

これらの活動の結果、AGHは、公益社団法人企業メセナ協議会による「メセナアワード2023優秀賞 アートがチャームをつなぐで賞」受賞に続き、「This is MECENAT 2024」の認定を受けました。今後とも、産学協働による活動を推進するとともに、地域活性にも寄与しながら、アートによる共生社会の実現を目指してまいります。

Q 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

A 4つのNo.1を実現し、介護業界のリーディングカンパニーとして、拡大する介護需要に応え、成長を続けてまいります。

2070年には我が国の高齢化率は39%の水準になるといわれており、介護需要のさらなる高まりが見込まれます。その反面、少子化により介護人材の確保は厳しさを増しております。4つの点で業界No.1を目指す取り組みを強化することで他社との差別化を進め、介護業界のリーディングカンパニーとして拡大する介護需要に応えていきたいと考えています。土地、建設資材、建築費はいずれも高騰しており、不動産事業は踊り場を迎えることが予想されますが、M&Aなどの新しい事業モデルに注力することで、従来のホーム開設ペース以上を維持し、中期目標である「連結売上高1,000億円以上、経常利益100億円以上」に向けて、さらなる成長を追求していきたいと考えております。

株主の皆さまには、「豊かで実りある高齢社会」実現へ向けて挑戦を続ける当社グループに引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Topics

2

サステナビリティへの取り組み

私たちチャーム・ケア・コーポレーションは、企業理念のもと、事業を通じて「豊かで実りある高齢社会」づくりに貢献することをミッションと位置付け、社会・環境をはじめとするサステナビリティを巡る諸課題への適切な対応が重要な経営課題であると認識し、取り組んでまいりました。このたび、重要課題の見直しとそのKPIの設定を行いました。ステークホルダーの皆さまとの協働を通じて、持続可能な社会の構築に貢献するとともに中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

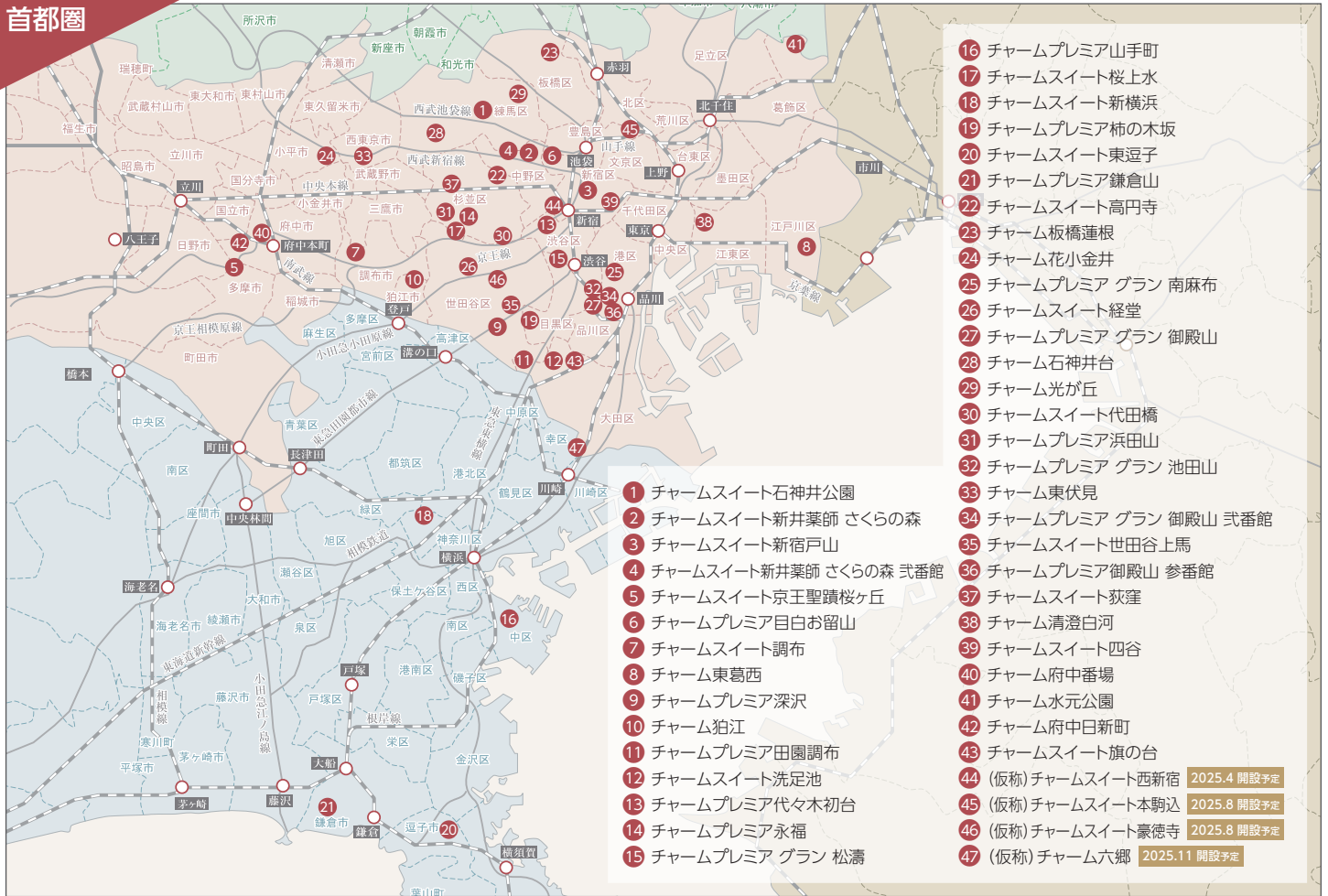
<https://www.charmcc.jp/corp/company/sdgs/>



重要課題（マテリアリティ）

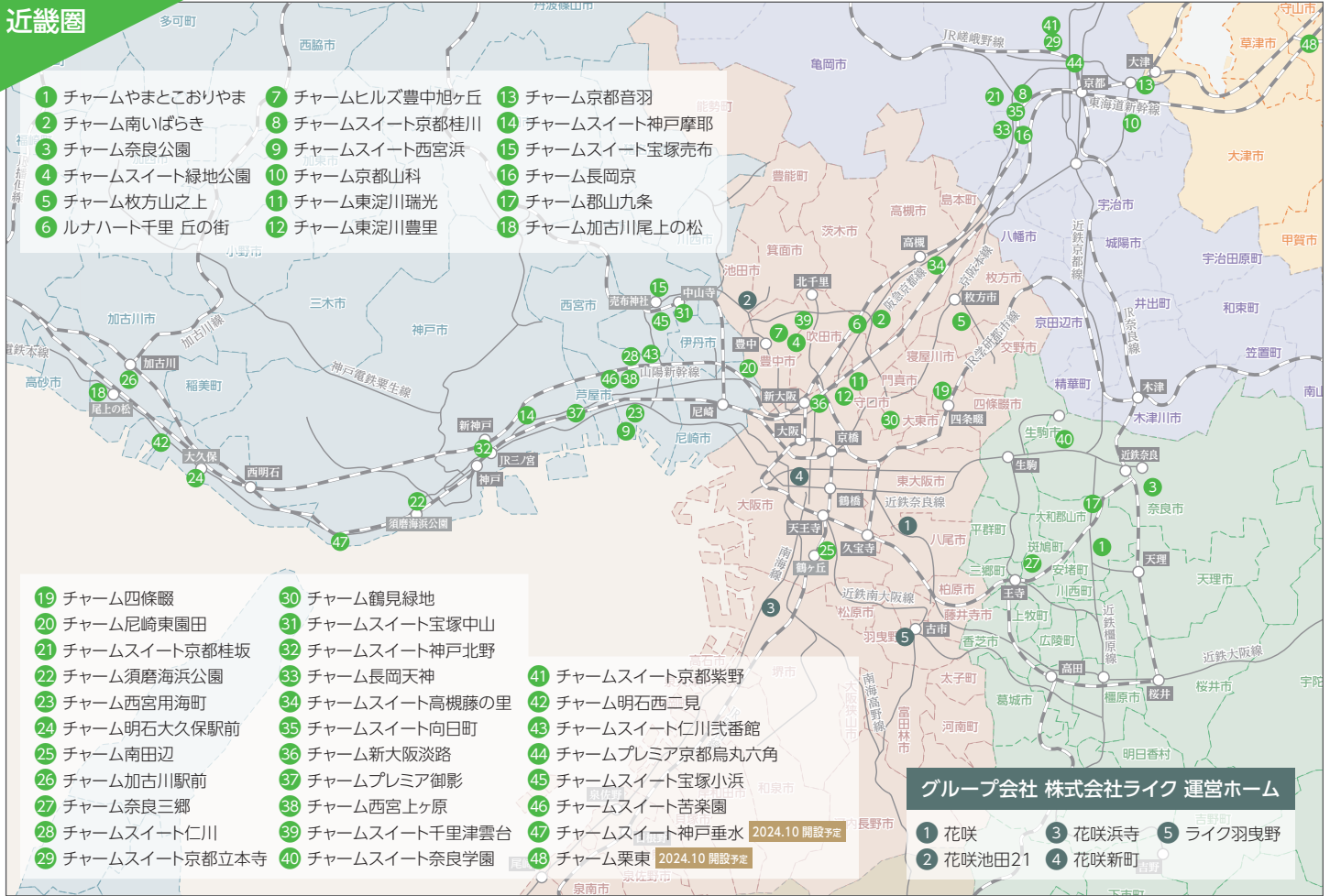
高齢社会に貢献する「魅力的な価値」の創造	日本を代表する介護事業者としての地位確立 介護事業を軸とした複合型ビジネスモデルへの成長 介護サービスの品質向上
「魅力的な価値」創造のための人材集団育成	人材の確保、育成 D&I（ダイバーシティ&インクルージョン） 働きやすい環境整備
地域社会とのつながりによる価値共創	地域社会と共存共栄 地域への還元・支援
公正、信頼のためのコーポレートガバナンス強化	リスクマネジメント コンプライアンスの徹底 BCP（事業継続計画）の強化 東証プライム企業としての企業基盤の強化
地球環境に対する思いやりと行動	廃棄物の削減 CO ₂ 排出量の削減

首都圏



- 1 チャームスイート石神井公園
- 2 チャームスイート新井薬師 さくらの森
- 3 チャームスイート新宿戸山
- 4 チャームスイート新井薬師 さくらの森 弐番館
- 5 チャームスイート京王聖蹟桜ヶ丘
- 6 チャームプレミア目白お留山
- 7 チャームスイート調布
- 8 チャーム東葛西
- 9 チャームプレミア深沢
- 10 チャーム狛江
- 11 チャームプレミア田園調布
- 12 チャームスイート洗足池
- 13 チャームプレミア代々木初台
- 14 チャームプレミア永福
- 15 チャームプレミア グラン 松濤
- 16 チャームプレミア山手町
- 17 チャームスイート桜上水
- 18 チャームスイート新横浜
- 19 チャームプレミア柿の木坂
- 20 チャームスイート東逗子
- 21 チャームプレミア鎌倉山
- 22 チャームスイート高円寺
- 23 チャーム板橋蓮根
- 24 チャーム花小金井
- 25 チャームプレミア グラン 南麻布
- 26 チャームスイート経堂
- 27 チャームプレミア グラン 御殿山
- 28 チャーム石神井台
- 29 チャーム光が丘
- 30 チャームスイート代田橋
- 31 チャームプレミア浜田山
- 32 チャームプレミア グラン 池田山
- 33 チャーム東伏見
- 34 チャームプレミア グラン 御殿山 弐番館
- 35 チャームスイート世田谷上馬
- 36 チャームプレミア御殿山 参番館
- 37 チャームスイート荻窪
- 38 チャーム清澄白河
- 39 チャームスイート四谷
- 40 チャーム府中番場
- 41 チャーム水元公園
- 42 チャーム府中春日新町
- 43 チャームスイート旗の台
- 44 (仮称) チャームスイート西新宿 2025.4 開設予定
- 45 (仮称) チャームスイート本駒込 2025.8 開設予定
- 46 (仮称) チャームスイート豪徳寺 2025.8 開設予定
- 47 (仮称) チャーム六郷 2025.11 開設予定

近畿圏



- 1 チャームやまごおりやま
- 2 チャーム南いばらき
- 3 チャーム奈良公園
- 4 チャームスイート緑地公園
- 5 チャーム枚方山之上
- 6 ルナハート千里 丘の街
- 7 チャームヒルズ豊中旭ヶ丘
- 8 チャームスイート京都桂川
- 9 チャームスイート西宮浜
- 10 チャーム京都山科
- 11 チャーム東淀川瑞光
- 12 チャーム東淀川豊里
- 13 チャーム京都音羽
- 14 チャームスイート神戸摩耶
- 15 チャームスイート宝塚売布
- 16 チャーム長岡京
- 17 チャーム郡山丸条
- 18 チャーム加古川尾上の松
- 19 チャーム四條畷
- 20 チャーム尼崎東園田
- 21 チャームスイート京都桂坂
- 22 チャーム須磨海浜公園
- 23 チャーム西宮用海町
- 24 チャーム明石大久保駅前
- 25 チャーム南田辺
- 26 チャーム加古川駅前
- 27 チャーム奈良三郷
- 28 チャームスイート仁川
- 29 チャームスイート京都立本寺
- 30 チャーム鶴見緑地
- 31 チャームスイート宝塚中山
- 32 チャームスイート神戸北野
- 33 チャーム長岡天神
- 34 チャームスイート高槻藤の里
- 35 チャームスイート向日町
- 36 チャーム新大阪淡路
- 37 チャームプレミア御影
- 38 チャーム西宮上ヶ原
- 39 チャームスイート千里津雲台
- 40 チャームスイート奈良学園
- 41 チャームスイート京都紫野
- 42 チャーム明石西二見
- 43 チャームスイート仁川弐番館
- 44 チャームプレミア京都烏丸六角
- 45 チャームスイート宝塚小浜
- 46 チャームスイート苦楽園
- 47 チャームスイート神戸垂水 2024.10 開設予定
- 48 チャーム栗東 2024.10 開設予定

グループ会社 株式会社ライク 運営ホーム

- 1 花咲
- 2 花咲池田21
- 3 花咲浜寺
- 4 花咲新町
- 5 ライク羽曳野

※ ●首都圏、●近畿圏、●グループ会社 株式会社ライク 運営ホーム (数字は、それぞれにおける開設・開発順位をあらわしています。)

2025年6月期は13ホームの開設・取得を予定しております。
 これにより、運営ホーム数は104ホーム（首都圏：49ホーム、近畿圏：55ホーム）となります。



チャームスイート旗の台

開設年月	2024年7月
所在地	東京都大田区北馬込1丁目11-8
居室数	60室



チャームスイート宝塚小浜

開設年月	2024年8月
所在地	兵庫県宝塚市小浜2丁目2番63号
居室数	80室



チャームスイート苦楽園

開設年月	2024年9月
所在地	兵庫県西宮市西平町10番5号
居室数	72室



チャームスイート神戸垂水

開設年月	2024年10月
所在地	兵庫県神戸市垂水区宮本町1番29号
居室数	95室



チャーム栗東

開設年月	2024年10月
所在地	滋賀県栗東市野尻443番地
居室数	80室



(仮称)チャームスイート西新宿

開設年月	2025年4月
所在地	東京都新宿区西新宿四丁目(工事中)
居室数	69室

ほか、M&Aにより7ホームを取得予定

2026年6月期以降の開設予定案件

(仮称)チャームスイート本駒込

(仮称)チャーム六郷

(仮称)チャームスイート豪徳寺

(仮称)チャームプレミア京都岡崎

(仮称)チャームスイート千歳烏山

(仮称)チャームスイート宮前平

(仮称)チャームスイート能見台

ほか

不動産事業における開発案件

不動産事業の開発案件として、以下の案件を予定しております。

2025年6月期・北烏山案件

2026年6月期・調布市国領案件

▲会社概要

(2024年6月30日現在)

商号	株式会社チャーム・ケア・コーポレーション		
本社所在地	大阪本社 大阪市北区中之島三丁目6番32号 東京本社 東京都渋谷区渋谷三丁目28番15号		
事業内容	有料老人ホームの運営ほか		
資本金	2,759,250千円		
従業員数	2,879名(パートタイマー、嘱託含む)		
運営ホーム数	91ホーム(うち株式会社ライク運営5ホーム含む)		

▲役員

(2024年9月26日現在)

代表取締役会長兼社長	下村 隆彦	常勤監査役(社外)	小酒 俊朗
取締役常務執行役員	小梶 史朗	監査役	大鹿 博文
取締役執行役員	前田 好彦	監査役(社外)	榎本 堅
取締役執行役員	横山 滋樹	執行役員	山田 智和
取締役(社外)	山澤 俱和	執行役員	加藤 博志
取締役(社外)	西門 賢治	執行役員	古川 郁太郎
取締役(社外)	田中 公子	執行役員	伊田 幸太
		執行役員	遠藤 圭太

▲株式の状況

(2024年6月30日現在)

発行可能株式総数	84,800,000株
発行済株式の総数	32,712,000株
株主数	7,371名

▲大株主(上位10名)

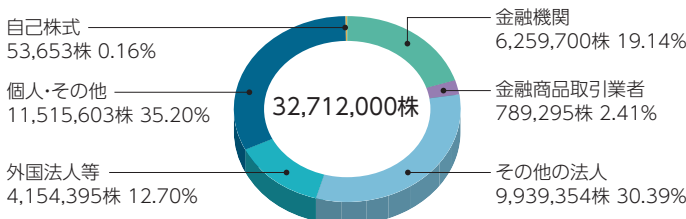
(2024年6月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社エス・ティー・ケー	9,600,000	29.40
下村 隆彦	5,297,200	16.22
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,755,500	11.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,131,900	6.53
GOVERNMENT OF NORWAY	700,300	2.14
BBH FOR GRANDEUR PEAK INTERNATIONAL OPPORTUNITIES FUND	480,900	1.47
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	469,900	1.44
丸本 桂三	322,400	0.99
チャーム・ケア・コーポレーション従業員持株会	317,400	0.97
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	291,900	0.89

(注)持株比率は自己株式(53,653株)を控除して計算しております。

▲所有者別株式分布状況

(2024年6月30日現在)



株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション

〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目6番32号 ダイビル本館21階
TEL 06-6445-3389 FAX 06-6445-3398
ホームページ <https://www.charmcc.jp/corp/> 当社マスコット「チャーミン」



▲株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	定時株主総会 毎年6月30日 期末配当 毎年6月30日 中間配当 毎年12月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所(郵送物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
インターネットホームページURL	https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/
よくあるご質問(FAQ)	https://faq-agency.smbt.jp/?site_domain=personal
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 (https://www.charmcc.jp/corp/company/) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主さまは、上記「電話照会先」までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

入会金・年会費無料 特典多数
チャーム・ケア友の会のご案内

会員資格	「友の会」入会の申し込みを行い、当社が承認した法人さま・個人さま
会費	入会金・年会費ともに無料
サービス内容	① 介護関連情報のご提供 ② 介護セミナー・講演会等のご案内 ③ 無料介護相談の実施 ④ 無料体験入居(2泊3日)のご提供 ⑤ ご入居時の優遇特典のご提供

ご入会方法・ご入会特典等の詳細につきましては当社ホームページ
<https://www.charmcc.jp/friends/>をご覧ください。

株主の皆さまの
声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 6062Pjot



スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェーブ
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネックスの提供する
「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」
✉ koekiku@pronex.co.jp

